

2014年2月15日発行

# 第 17 号

◇ 運営の理念 ◇

いつも明るく  
物事を正しくわきまを  
そして人と仲よくできる  
子どもを育てることを  
理念とします

## 学園通信

# 杉の子

発行  
社会福祉法人  
**光明会杉並学園**

〒168-0081 東京都杉並区宮前3-10-8  
TEL 3332-2567  
FAX 3334-7905  
HPアドレス  
<http://sugigaku.web.fc2.com>

### 第40回浄土宗社会福祉協会 中央研修会に参加して

施設長 丸山 徹

#### 杉並学園にて施設見学会

平成25年10月10日、第40回浄土宗社会福祉協会中央研修会が行われました。初日の研修会場は、大本山増上寺「三縁ホール大蔵地下」でした。最初の講演は、淑徳大学コミュニケーション学部の藤森雄介先生による「現代日本における社会福祉の定義と課題」と言うテーマです。仏教福祉の持つ可能性と、私たちの役割についてお話いただきました。

次の講演は、上智大学グリーンケア研究所客員所員の大河内大博先生による「対人援助における心のケア」と言うテーマです。グリーンケアの理論モデルと心のケアの特徴についてお話いただきました。両講演ともに福祉実践の上で、とても大切な課題であると思いました。二日目の研修会は、40余名の全国からの参加者をお迎えしての杉並学園の施設見学を行いました。

脇田理事長から、杉並学園の



増上寺と東京タワー

沿革の紹介も合わせて、参加者の皆様をお迎えする挨拶が行われました。その後、本園の小舎や小規模グループケア棟、自立支援棟、自活訓練棟、仏間の見学を実施。また希望者には都型のグループホームの見学をしていただきました。短い時間でありましたが、参加者の皆様からは、「日課はどうなっていますか」、「勤務のローテーション」など熱心な質問が寄せられました。同じ福祉事業に従事する仲間として共感する事も多く、これからも浄土宗社会福祉協会の一員として、子どもたちのより一層の支援に取り組みうと私も職員一同と心を新たにいたしました。

### あんずホーム(本園2F女児棟) 改築工事をしました

昨年末、本園女子棟のあんずホームにて、居室の改装工事が行われました。あんずホームは女児定員が7名です。工事直前の児童構成は個室二部屋、二人部屋一部屋、三人部屋一部屋でしたが、この三人部屋を改装し個室と二人部屋を一部屋ずつとしました。これによって杉並学園では幼児部屋以外はすべて最大二人部屋までの居室構成となりました。



個室対応や少人数制が主流となる現在では、大人数の大部屋よりも少人数の部屋や個室が児童の生活に適しています。新しく出来た二人部屋に入った女児二名と個室に入った女児一名はより「自分の部屋」らしく居室内を飾り、また自分の生活のペースを保つための空間として上手に活用しています。元の大部屋を区切った造りなのでまだ不便な所もありますが、児童にとっては自分だけの大事な空間であり、気に入っている様子です。



#### 地域の防災バザーに参加しました

11月10日バザー当日は、台風が近づいていた為、風が強く準備も大変でしたが、商品を陳列している段階から早くもお客様がいらしてくださいました。学園の子どもたちも手伝ってくれ、楽しく商品が売ることができました。

最初に設定した販売価格よりも大幅に値段を下げたことで一気に商品が売れて非常に慌ただしいバザーでしたが、地域の方々と交流ができ、大きな収穫となりました。今後はこのような機会をさらに増やし、より地域に根ざした施設になっていきたいと思っております。

#### 地域交流行事を おこないました。

11月2日、今年も杉並学園による地域交流行事を開催しました。準備では子どもたちがポスターやチラシを作成して各々とても可愛らしい作品ができあがりました。ポスターは小学校や地域の掲示板へ掲載させて頂き、チラシは近隣の方へ投函させて頂きました。

当日はポスターやチラシを見てくださいました地域の子もたちや、学校のお友達などが参加してくれて大盛況。腕によりをかけて作った芋煮(東北地方の郷土料理)を大鍋で振る舞い、みんなお腹いっぱいになるまで食べてくれました。また、ミニ縁日として職員によるペットボトルポウリング、空き缶積み、輪投げブースを設置しました。子ども達は楽しくおしゃべりをしながら思い思いに楽しんでいました。

